

# 2025年3月期第3四半期 決算補足資料

2025年2月7日



(東証スタンダード市場 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
バランスシート（連結）	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	前年 同四半期比	2025年3月期 業績見通し
売上高	30,322	32,270	+ 1,948	+ 6.4%	44,000
営業利益	1,579	1,884	+ 304	+ 19.3%	2,350
経常利益	1,655	1,943	+ 287	+ 17.4%	2,410
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,098	1,382	+ 284	+ 25.9%	1,680

## 決算の概況

- 防災・減災、国土強靱化に関連する特殊車両の販売は堅調に推移しました。化学業界、鉄鋼業界、電力業界において、老朽化した設備の安定稼働を目的とした更新需要や生産性の向上につながるデジタル技術を活用した投資需要を取込んだ他、製造用機械・電気機器業界、建設・プラント業界向けの販売も堅調に推移しました。また、生産設備の高稼働状況を背景に造船業界向けの販売も増加しました。
- 重点戦略に掲げている高付加価値営業の強化に取り組んだ結果、収益性が向上しました。
- 特別利益において移転補償金1億25百万円があったことから親会社株主に帰属する四半期純利益が増加しました。

(注)本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測制御機器	15,000	15,385	+ 2.6%	47.6%
環境計測・分析機器	2,780	2,728	△ 1.9%	8.5%
測定・検査機器	1,030	1,263	+ 22.7%	3.9%
産業機械	11,511	12,892	+ 12.0%	40.0%
合計	30,322	32,270	+ 6.4%	100.0%

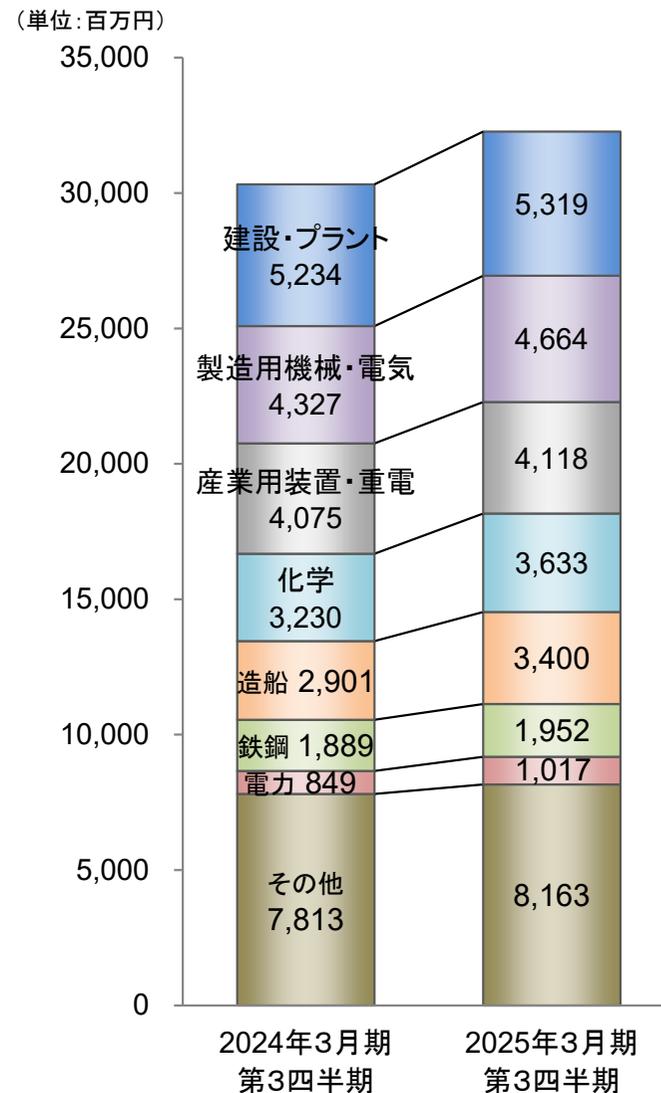
(単位:百万円)



## 増減要因

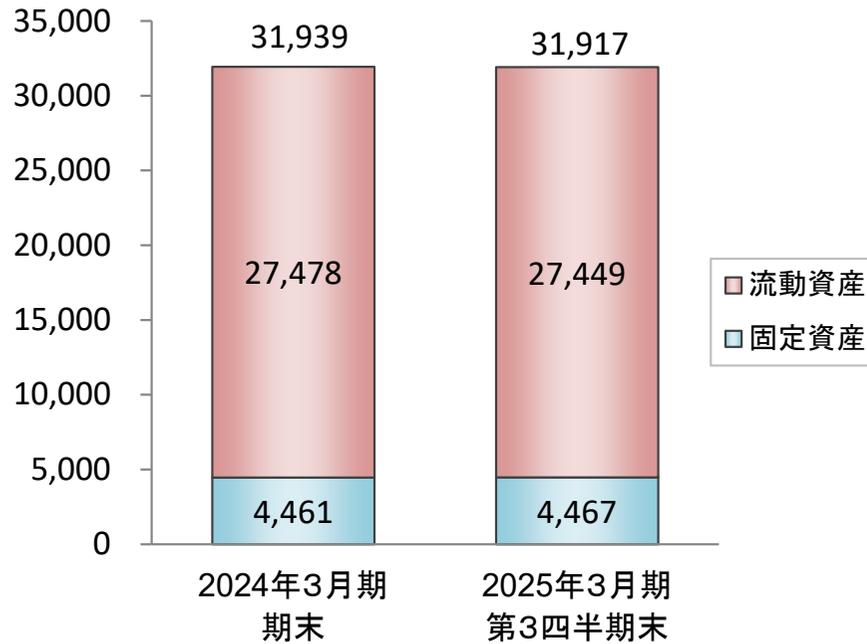
- ◆ **工業用計測制御機器** ... 生産設備の稼働率が高い造船業界向けに各種センサーの販売が伸長しました。また、老朽化した設備の安定稼働を目的とした更新需要や生産性向上を目的としたDXの推進に関連する投資需要を取込み、社会インフラ市場、化学、鉄鋼、電力業界向けに各種プロセス計測制御機器、各種遠隔監視システムの販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。
- ◆ **環境計測・分析機器** ... 環境問題への社会的関心の高まりを背景に、環境負荷低減や様々な規制に関連する各種分析計、環境計測機器の投資需要を取込み、電力、製造用機械・電気機器業界向けを中心に水質計、大気分析計の販売が堅調に推移しましたが、産業用装置・重電設備業界向け大型案件の売上が一巡したことにより、全体では微減となりました。
- ◆ **測定・検査機器** ... 化学業界向け大型検査機器の販売があった他、製品の品質管理体制の強化や設備の劣化診断を目的とした各種測定検査機器、設備保全に使用される保安メンテナンス機器の投資需要を取込み、鉄鋼、自動車、造船業界向けの販売も増加しました。
- ◆ **産業機械** ... 防災・減災、国土強靱化に関連する特殊車両や道路維持機械の販売、脱炭素社会実現を目的とした各種電解評価装置や各種電解セル等の販売は堅調に推移しました。また、造船、製造用機械・電気機器業界向けにバルブやポンプの販売が増加した他、老朽化した設備の安定稼働、作業環境の改善、安全性向上を目的とした投資需要を取込み、化学、鉄鋼業界向けの販売も増加しました。

(単位:百万円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
建設・プラント	5,234	5,319	+ 1.6%	16.5%
製造用機械・ 電気機器	4,327	4,664	+ 7.8%	14.5%
産業用装置・ 重電設備	4,075	4,118	+ 1.1%	12.8%
化学	3,230	3,633	+ 12.5%	11.3%
造船	2,901	3,400	+ 17.2%	10.5%
鉄鋼・ 金属製品	1,889	1,952	+ 3.3%	6.0%
電力・ガス	849	1,017	+ 19.7%	3.1%
その他	7,813	8,163	+ 4.5%	25.3%
合計	30,322	32,270	+ 6.4%	100.0%



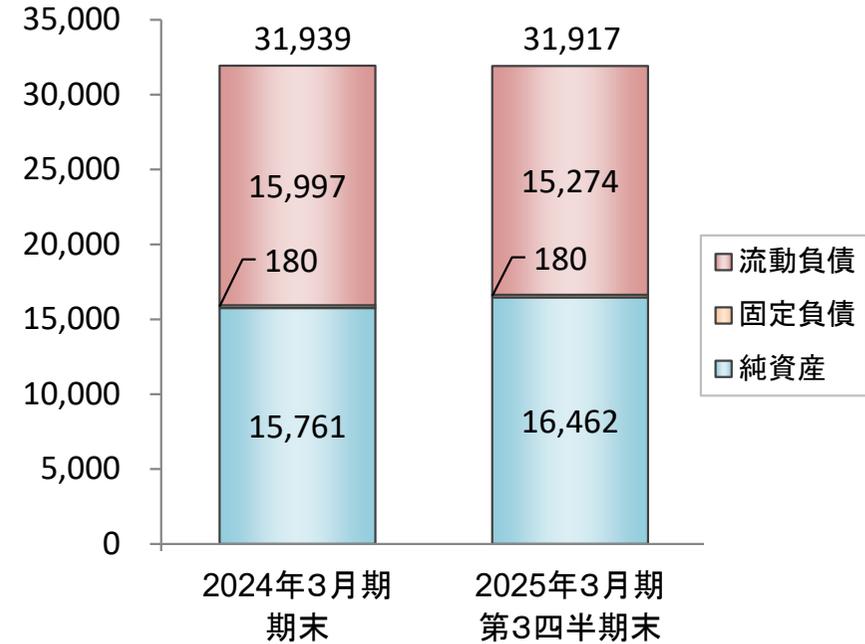
(単位:百万円)

## 資産合計



(単位:百万円)

## 負債純資産合計



2025年3月期第3四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率 : 51.6% (2024/03時点 49.3%)

### 資産

【増減の主な要因】

(単位:百万円)

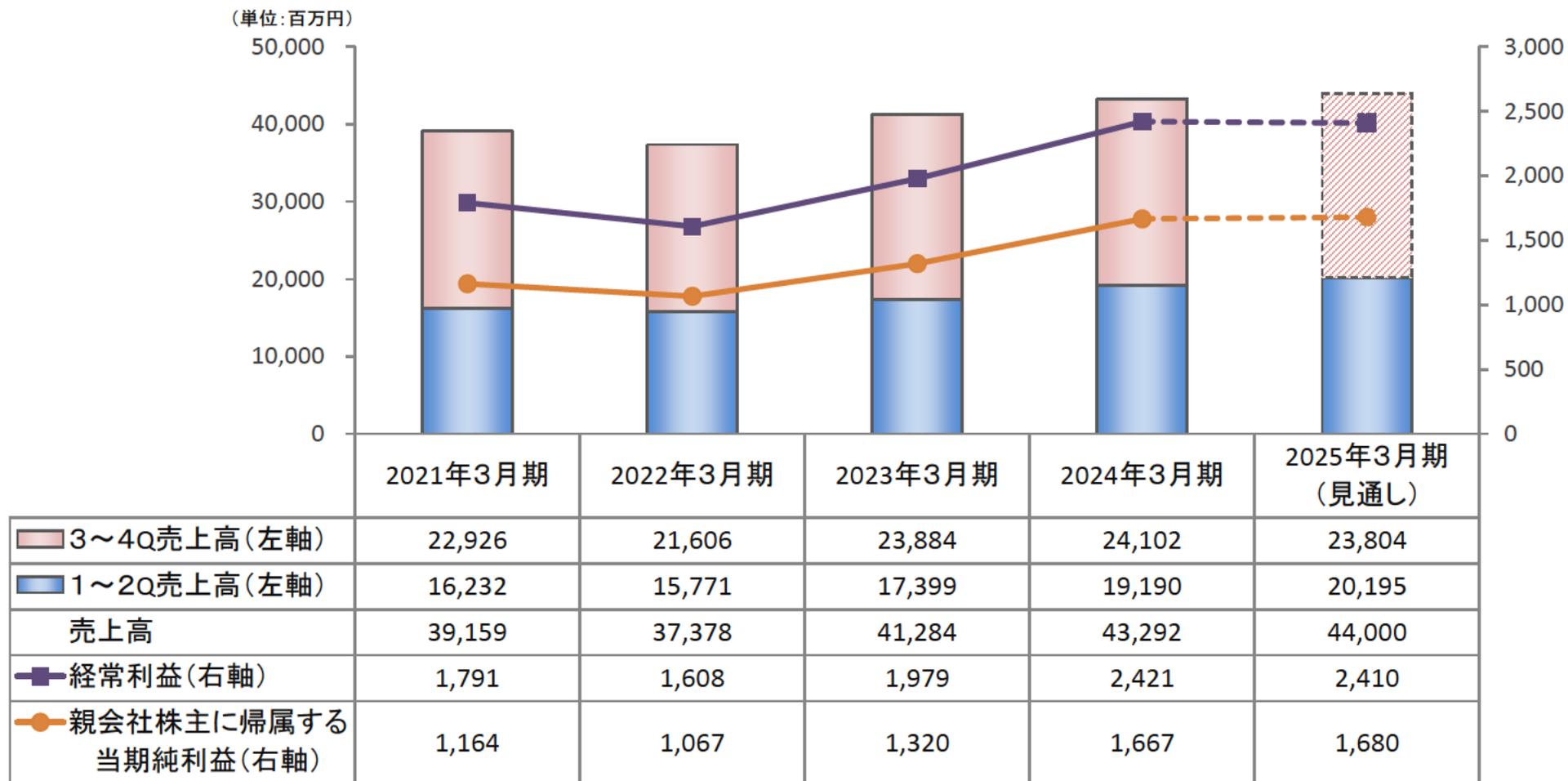
- ◆ 棚卸資産: 2,777(+857)  
受注残の増加に伴い増加しました。
- ◆ その他流動資産: 503(+352)  
前渡金の増加に伴い増加しました。
- ◆ 受取手形、売掛金及び契約資産: 13,936(△1,783)  
売上債権の回収が進んだことにより減少しました。

### 負債・純資産

【増減の主な要因】

(単位:百万円)

- ◆ 支払手形及び買掛金: 5,242(△1,130)  
仕入債務の支払いが進んだことにより減少しました。
- ◆ 純資産: 16,462(+701)  
配当金の支払い(537百万円)により減少し、四半期純利益(1,382百万円)等により増加しました。



本資料に関するお問い合わせ先



経営戦略部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。